

# 水田たより 12月号

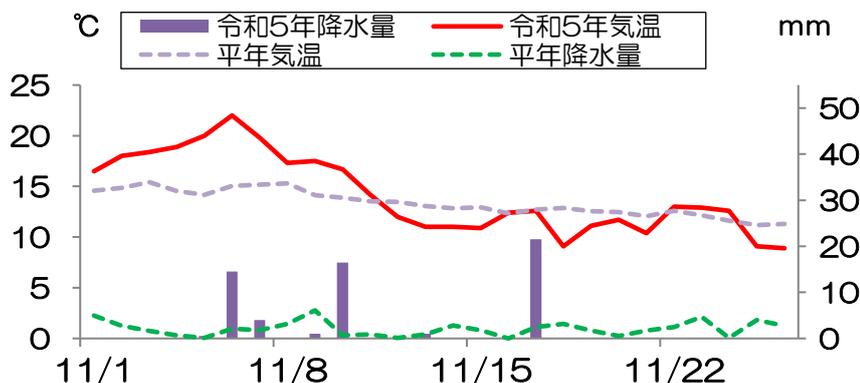
令和5年12月1日

JAみえきた

桑名地域農業改良普及センター

## 麦

### 気象状況



#### R5/11/1~R5/11/26の概況

◇積算気温  
368°C(平年 347°C)  
◇積算降水量  
59 mm(平年 54 mm)  
◇積算日照時間  
157 時間(平年 147 時間)

今年は平年よりも気温が高く、降水量もやや多くなっています。12月以降は気温が「平年並〜高い」という予想が70〜80%となっています（気象庁 3か月予報より）。

## 麦

### 今後1~2か月間の栽培管理

気温が高いと、麦の生育が早く進みすぎてしまうことで、①過繁茂になって倒伏しやすくなる、②早い段階で幼穂を形成して凍霜害を受ける、③早くに肥切れする、といった問題が起きる恐れがあります。11月上旬に播種したほ場では、注意が必要です。

過繁茂や凍霜害への対策としては麦踏み、肥切れの対策としてはつなぎ肥が重要になります。

#### ○麦踏み

麦踏みは生育を抑える効果があり、他にも乾燥や寒さによる株の浮き上がり防止、有効茎を増やす、根が張るなど様々な効果があります。3葉期から茎立期（12月上旬から2月上旬ごろ）の時期に、15日から20日間隔で2〜3回行いましょう。茎立期以降の場合は麦踏みをする、茎が折れたり、幼穂を傷つけてしまうため、避けましょう。また、土壌が湿っているときに麦踏みをする、土壌が固くなって麦の生育が阻害されますので、土壌が乾いているときに行ってください。



3葉期頃の小麦

#### ○つなぎ肥

生育初期段階で肥切れすると茎数が確保できず、収量が低下します。葉色が薄くなる前に、窒素量1〜2kg/10aでつなぎ肥を施用しましょう。1月中下旬が目安ですが、11月上旬に播種したほ場では、今後気温が高い日が続くと、12月中に肥切れして葉色が落ちる可能性があります。その場合は、生育に合わせてつなぎ肥を施用してください。

#### ※12月以降の播種について

大豆跡など12月以降に播種する場合は、茎数を確保するために、播種量は10kg/10a以上にしましょう。

## 水稻

### 令和5年産生育基準田の収量調査結果とその要因

#### ○「あきたこまち」と「コシヒカリ」

分けつ期（5月から6月）の積算気温が高い一方で、積算日照時間が短く推移したため、茎数の増加が緩慢となり、穂数が少なくなったと考えられます。しかし、その後6月下旬から7月下旬までは十分な日照時間が確保されたことで1穂粒数が増加したとみられ、精玄米重は「平年並」から「多」となりました。

#### 令和5年産水稻収量調査結果

#### 桑名普及センター調べ

品種	場所	移植日	成熟期	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (/m <sup>2</sup> )	精玄米重 (kg/10a)	千粒重 (g)	
あきたこまち	長島	R5	4月7日	8月4日	74	17.6	315	538	21.4
		平年比	4日早い	4日早い	やや少	並	やや少	多	並
コシヒカリ	桑名	R5	4月25日	8月19日	89	20.3	340	545	21.7
		平年比	1日遅い	4日早い	並	多	少	並	並
キヌヒカリ	大安	R5	5月18日	9月3日	81	18.7	265	409	23.3
		平年比	2日遅い	同日	並	並	並	並	並

精玄米重：水分率 14.5%換算の値。

平年比：あきたこまち、キヌヒカリは過去6年間、コシヒカリは過去3年間の平均値との比較。

90%以下は「少」、90%より多く95%以下は「やや少」、95%より多く105%以下は「並」、110%より多くは「多」と表記。

農林水産省が発表した三重県の作況指数（10月25日現在）は101と平年並みです。

## 水稻

### スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策

近年、スクミリンゴガイの発生範囲が広がりつつあり、管内の一部地域では食害が目立っています。スクミリンゴガイは、移植時期の薬剤防除だけでは被害を抑えきれません。冬期の対策を組み合わせた体系防除が効果的です。

#### ■冬期のロータリー耕うん

スクミリンゴガイは寒さに弱く、土の中に潜り越冬します。越冬個体を物理的に粉碎するとともに、寒さにさらして**密度を抑制**しましょう！

#### ○1回目 収穫後～12月

- ・PTO回転（ロータリーの回転）を速く、走行速度はゆっくり。
- ・地表6cmまでに存在しているので浅く起こす。

#### ○2回目 厳寒期（1～2月）

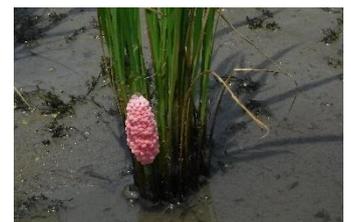
- ・土壌が乾き硬い状態で行う。
- ・慣行の設定で走行し、作土層を確保する。

#### ■発生量が多い場合は▷▷厳寒期の水路の泥上げで越冬場所を無くす。

- ・地域全体での取り組みが効果的。
- ・泥上げた泥を未発生地域へ持ち込まないように注意する。



スクミリンゴガイ



スクミリンゴガイの卵

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページで  
ご確認いただけます。「桑名普及」でご検索ください。



桑名普及

検索